

経営比較分析表（平成29年度決算）

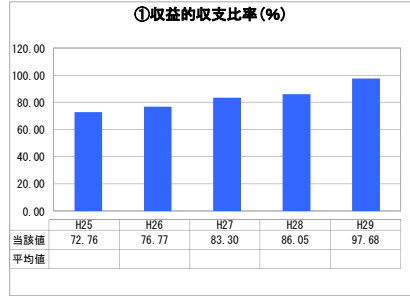
秋田県 上小阿仁村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	44.23	90.00	3,705

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,375	256.72	9.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,042	0.94	1,108.51

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
□	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



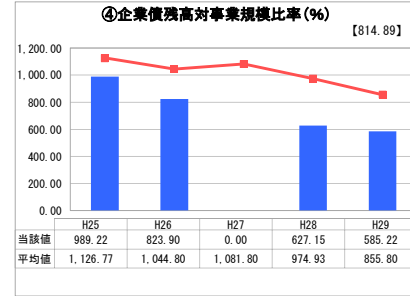
「単年度の収支」



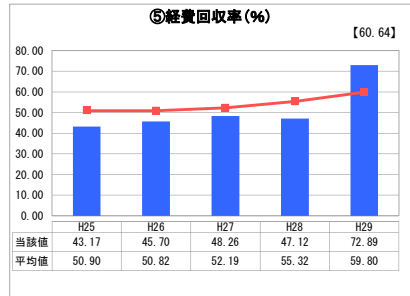
「累積欠損」



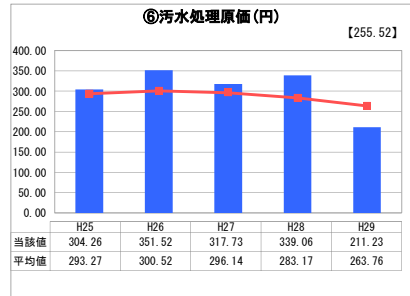
「支払能力」



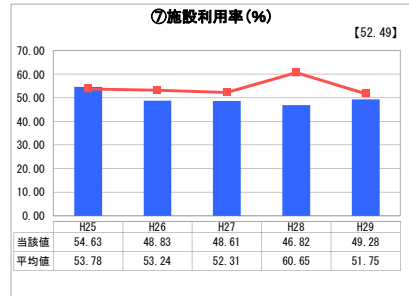
「債務残高」



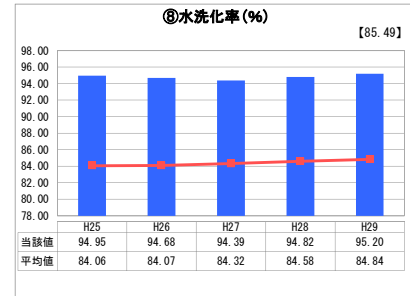
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

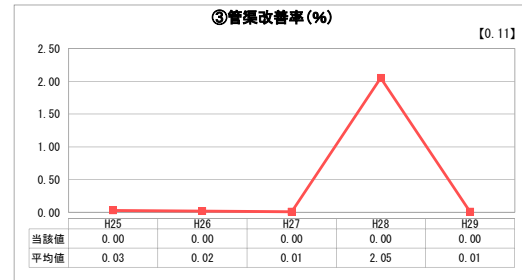
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

財源構成は、歳出総額に対する使用料収入が占める割合が約3.4%ほどで、残り約6.2%を一般会計繰入金で賄われている。経費の内訳は償還金及び人件費が全体の約6.0%であり、一般会計繰入金が充てられている。

収益的支出比率は、基準外繰入金の増加等により前年度から約1.1%増加した。経費回収率は約25.8%増加し、全国及び類似団体平均値を上回る結果となった。

汚水処理原価は前年度より約127.8円減少し、全国及び類似団体平均値より低い数値となった。施設稼働率は約2.5%増加し平均値をわずかに下回ったが、前年度は大きく開きがあったため改善が見られた。

水洗化率については、すべての計画区域が整備済みのため、高い水準で推移している。近年は人口推移により、9.4%～9.5%台で僅かに増減している。

2. 老朽化の状況について

村内に整備された4地区の処理場は、供用開始から古いもので25年以上経過しているが、管路は耐用年数からみても当面更新する予定はない。

平成27年度に実施した施設機能診断調査及び最適整備構想に基づき、統合により効率的な更新に努める。

全体総括

基準外繰入金の増加により多くの項目で改善が見られたが、一般会計からの繰入金に依存する体制は変わらず、人口減少による使用料の減少が見られるため厳しい運営状況となっている。

供用開始からそれぞれ相当期間が経過し、順に更新時期を迎える。最適整備構想に基づき、低い施設利用率の解消も考慮し、平成30年度から隣接する下水道施設との統合計画が始まる等、効率的な事業運営を進めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。